

母親は約 7 年 6 ヶ月 父親は約 3 年 4 ヶ月

この数字、何の数字だと思いますか？

ずいぶん前にNHK 総合テレビで放映された「チコちゃんに叱られる」で出会った衝撃の数字です。関西大学の保田時男教授が出演され、その教授の計算式で**「親と子が一生のうちで一緒にいられる時間」**が算出されたのです。その数字は、おしゃべりをしたり、ご飯を食べたり、リビングで過ごしたり、親子が本当に一緒に時を過ごす時間です。（寝ている時間やお風呂に入っている時間等を除いた時間）親の平均寿命を80年で考えたとき、なんと…！

「母親は約7年6ヶ月 父親は約3年4ヶ月」しか一緒に過ごしていないというのです！

幼稚園入園時点で約2割消化、幼稚園卒園で約3割が終わり、3分の1が過ぎ去ってしまったことに。小学校卒業で5割越え、高校卒業を迎えて約7割を消化してしまいます。大学で親元を離れると、1年間で親と会う日数は、例えばお正月に3日、お盆に3日で6日間だとして計算すると…帰省しても友達と会ったり買い物をしたりと一日中親と一緒にいるわけではないので、顔を合わせる平均時間は1日4時間。つまり親元を離れて暮らす子どもの場合、1年間で親と過ごしている時間は4時間×6日間で24時間。たったの1日分しかないという計算になります。（もちろん最短の日数で計算されています。）この計算でいくと、親の余命が20年だとすると、一緒に過ごせる時間はあと20日！？

自分の親や子どもとの時間を大事にしたい…と心から思った数字でした。

中学生をもつご家庭では、反抗期真っ盛りで、親子げんかばかりの毎日…なんてこともあるかもしれません。でも、親子げんかになりそうになった時、ふとこの数字を思い出してみてください。一言、二言を呑み込むことができるかもしれません…笑。

また、1日の中で、子ども達にとって親と過ごす時間よりも私たち教員と過ごす時間の方が長いこともしっかりと受け止めなければならぬと感じました。その上で、大切にお預かりし、一人一人のよいところをどんどん見付け、言葉にして伝えていきたいと思ひます。

今後も、朝の会での子ども達の表情、1時間1時間の授業での頑張り、給食を食べる量の変化、部活動で生き生きと活動する姿、そして、友達と語り合い楽しさや悩みを共有する姿を見逃すことなく、ご家庭との連携をより強固に、子ども達の成長をサポートしていきたいと思ひます。四中生が、**「期待の笑顔で登校し、満足の笑顔で下校できる学校づくり」**に励んでいきます。



京都からの贈り物

9年生が5月14日(火)～16日(木)の2泊3日で広島、京都、奈良への修学旅行に行ってきました。活動の様子はHPでも写真と共に伝えさせていただきましたのでご覧ください。

広島では平和について真剣に考え、京都・奈良では日本の伝統や古代建築技術に圧巻の感動を覚えた3日間となりました。

つい先日、京都でお世話になった旅館の方から、お手紙が届きました。生徒達が旅館を去った後、406号室に心温まるメッセージが置かれており、四中生が感動や感謝をカードにしたためてくれたことに、スタッフ一同仕事の励みになったことや有難い気持ちになったという感謝のお手紙と贈り物(右)が添えられていました。

学び多き3日間になったことは生徒達の表情からも十分に伝わりましたが、こんな温かいアクションを起こせる四中生に、「誇り」と校訓の「素朴」を感じたエピソードでした。



対話の視点が変わると、話が広がったり深まったりして、だんだん前のめりに!!

互いを認め合う温かい空気を感じた時間となりました。

四中しゃべり場

今年度の新しい試みとして、『四中しゃべり場』を全学年で実施していきます。「便利って本当にいいこと?」「普通って何だろう?」等、答えのない問いに対して自由に対話を重ねるサークルトークです。

県の教育指導方針でもアウトプットの重要性が打ち出されているのですが、四中ではアウトプットのための第一歩として、**安心して話せる環境作りのために聴き手の育成に力を入れていきます**。「相手の話を最後まで聴き、絶対に否定をしないこと」「質問しながら対話を広げたり深めたりすること」というのがルールです。これまで知り得なかった友達の考え方や価値観に触れる面白さに、生徒達の表情も生き生きとしていました。

5月に実施した学校運営協議会でも、生徒とPTA、学校運営協議委員など、世代を超えたメンバーで「誇れる学校とは何か」「どんな学校を創っていききたいか」等のテーマで対話をするのもいいのではないかと熟議が盛り上がりました。ぜひ『しゃべり場』の形で実現させ、学校と地域が一体となって、四中学区を元気にしていきたいと思ひます。



第1回学校運営協議会の熟議の様子

市総体が始まります!! 壮行会では、本気の校歌に感涙

5月2日の市陸上を皮切りに総合体育大会が始まりました! 9年生にとっては、3年間の集大成となる大会、また7・8年生にとっては、先輩から学ぶ最後のチャンスとなる大会です。給食の時間にオンラインを活用した壮行会を実施しました。さらに、放課後には校長先生が9年生の顔を見てエールを贈りたい!

と特別壮行会が開かれました。校長先生の中学時代や教員として部活をもっていた頃の話の中で、3年間部活を継続してきたことへのリスペクトと、だからこそ悔いのない闘いを!というメッセージ。そして後藤先生から全力のエール!それに応えようと9年生全員での闘志のこもった校歌斉唱!最後に「がんばるぞー!」「オー!!!!!!」と心を一につに! **応援しています!**



9年生の全力の校歌斉唱に感涙!

拳を突き上げ心を一につに!